

▶執筆 人権教育課 (市役所内線 4012)

母の運転免許証返納

先日、私の母が自動車の運転免許証を返納しました。満87歳の返納は決して早いものではありません。しかし、これまで何度も返納を勧め...



がいっぱいあるんやから」と笑って話す前向きな母を見ていると、また一つ大切なことを教えられたように思います。そんな母が不安にならないように、妻だけでなく私も子どもたちも家族みんなで、母をできる限り支え、母との時間を一緒に楽しみたいと思います。



播博には8千人以上が来場。熱心に製品や生地に見入る姿も。

市長からの手紙

— 西脇を元気に!! —

102

播州織の魅力を全国に

このたび、3年ぶりに3回目の播州織産地博覧会(播博)が開催されました。この播博は、市民有志の方が全国へ播州織の魅力を発信するイベントを育てていこうとの思いで、「産地・西脇で播州織の生地マルシェ」の開催を企画。平成30年に開催された1回目は、限られた会場に5千人もの来場者があり、思わぬ人数に大混雑。令和元年の2回目も6500人の来場があり大いにぎわいました。このたびの



西脇市長 片山 象三

3回目は、市役所の駐車場で西脇青年会議所が主催された「食」のイベントもあり、旧来住家住宅から市役所にかけての中心市街地には、8千人以上のたくさんの方々が来場しました。神戸からツアーで参加された方から、「3年前も来た播州織の大ファン。産地でしか見ることのできない生地がたくさんあり、ワクワクしました!きょうは、財布の中が空っぽになり、自分でもびっくりしています」と、とてもうれしい声を聞くことができました。

播州織の生産量が徐々に低下し、新型コロナウイルス感染症でさらに拍車がかかる中、かつては、播州織の工場で働く若い女性従事者でにぎわった「西脇の商店街」が新たな形にぎわう姿を見て、ワクワクしました。また、改めて播州織の魅力を感じました。皆さんとともに「元気なまち西脇市」を創ってまいります。



境内入り口に建つ二の鳥居



大規模な拝殿



瀧尾神社は黒田庄町黒田の氏神で集落南東の山裾にあります。江戸時代には5柱の神様を祭ることから五社大明神と称していました。同社の西約600mにある一の鳥居から二の鳥居を抜け、参道を抜けると隨身門があり、境内の奥に大規模な拝殿とその奥に本殿があります。拝殿は桁行(正面)七間、梁間(側面)三間と大きく、大正3(1914)年の再建です。本殿は、桁行三間、梁間三間で、元禄15(1702)年に再建されたもので、令和4年5月に修理工事が完了しました。かつては、円護寺という宮寺がありましたが、明治期の廃仏毀釈で廃寺になりました。二の鳥居前の鐘楼はその名残りです。

瀧尾神社 (黒田庄町黒田)

ふるさとの魅力再発見にしわき歴史探訪

34

▼問合せ 郷土資料館 (☎235992)

みんなでまちづくり—市民の皆さんのまちづくり活動—

住民一丸で芳田の未来をつくる

芳田自治協議会活動展開中!

令和3年11月に設立された芳田自治協議会は、市内4例目の地域自治協議会で、「絆を深め 様々な課題を解決して 誰もが活き活きと暮らす芳田の里」をスローガンに「交流」「福祉」「安全・安心」「産業・観光」の4部会に分かれて、各事業に取り組んでいます。今後、部会だけでカバーできない移住対策や角尾山登山道整備などについては、プロジェクトチームを結成し、外部の専門家や兵庫県の補助金などを活用しながら、事業を展開していきます。



西脇の自然 580

ヒレタゴボウ

あかばな科



水田の隅や水を張った休耕田などの湿地で見かけます。黄色い4弁の花は愛らしく、蒲公英と呼ばれる種子が詰まった実は四角形の特徴的な形をしている熱帯アメリカ原産の外来種です。在来種であるチョウジタデ(別名タゴボウ)に似ていて、葉の付け根部分にひれ状の隆起があるところから、ひれのあるタゴボウに似た植物と名が付いたようです。別名はアメリカミズキンパイ。

花は親指の爪くらい大きさで黄色い花びらは色も形もよくて、暑さを忘れてつい見とれてしまいます。田んぼで生育するのは困りものですが、川べりで繁茂するところは見応えがあります。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】